

学び続ける



名古屋市音楽教育研究会会長
猪子石中学校長 新美 ゆう

「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」（令和3年1月中央教育審議会答申）を受け、「個別最適な学び」、「協働的な学び」、「主体的・対話的で深い学び」、「ICTの活用」等に視点が当てられ、授業研究や授業づくりが進められてきています。

音楽科の授業には、「個別最適な学び」、「協働的な学び」の要素が含まれています。授業のどの場面がどちらに相当するか、意識をもって授業を展開するとともに、音楽科で育成を目指す様々な力や能力についても、しっかりとした教育課程を組み立てる必要があります。

特に、「音楽的な見方・考え方」は、音楽科を学ぶ本質であり、資質・能力の育成、そして「深い学び」の実現に向けて、今後も、検討や議論を進めていかなければならないと考えています。

さらに、私たち教師の学びについて、「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について」（令和4年12月中央教育審議会答申）では、「個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じて、『主体的・対話的で深い学び』を実現することは、児童生徒の学びのみならず、教師の学びにも求められる命題である。」として、「新たな教師の学びの姿」が示されました。

- 変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ自律的に学ぶという「主体的な姿勢」
- 求められる知識技能が変わっていくことを意識した「継続的な学び」
- 新たな領域の専門性を身に付けるなど強みを伸ばすための、一人一人の教師の個性に即した「個別最適な学び」
- 他者との対話や振り返りの機会を確保した「協働的な学び」

「ナゴヤ学びのコンパス」が示された今、本研究会での講演会や研修会、各部会での研修等の活発な活動が進められ、研鑽が積まれることで、本研究会が実りのある学び合いの場となることを願っています。

令和6年度 研究主題について



名古屋市音楽教育研究会副会長
名古屋市音楽研究会委員長
たかしま小学校 光川 知里

本市では、昨年9月に「ナゴヤ学びのコンパス」が策定されました。どの学校園でも大人が大切にしたいこととして、「子どもは有能な学び手」であると理解し、尊重、対話、チャレンジを大切にしながら、子どもの学びに伴走することが明記されています。「学びのコンパス」の重視したい三つの学びの姿として、「夢中で探究する」「自分に合ったペースや方法で学ぶ」「多様な人と学び合う」ことが取り上げられています。

これまでも、音楽科において、「主体的な学び」や「協働的な学び」について、多くの実践がなされてきました。しかし、全ての子どもを「有能な学び手」と理解して、「学びのコンパス」に即した子ども中心の学びをどのように進めればよいのか不安に思う教師も少なくないのではないのでしょうか。子ども中心の学びを進めるためには、教師が子どもの思いを尊重し、子どもの学びに寄り添うことが大切です。そのために、子どもたち自身が自己の学びについて見つめることができるよう、個に応じた学びの場の設定や、どのように声を掛けたり支援をしたりしていくかという子どもたちとの対話の工夫等が必要であると考えます。さらに音楽科として、子どもたちと音楽との出合わせ方や、他者との関わりについても大切にしていきたいものです。

研究会として、子どもたちの「もっと学びたい」に寄り添うために、音楽科としての学びの在り方を追究し、発信できるよう研究を進めていきたいと考えます。

皆様には、授業研究部会、教育研究部会や音楽的行事等に積極的に参加していただき、より実りのある研究会活動となりますよう、ご協力をお願いいたします。

音楽教育講演会・総会

5月21日（火）
イーブルなごや

【音楽教育講演会】

「これからの名古屋の教育」

講師 名古屋市教育委員会義務教育課
指導主事 荒川 洋子 先生

「ナゴヤ学びのコンパス」の概要から、「対話」の大切さについてご講演いただきました。

「学びのコンパス」で重視している「子ども中心の学び」を実現していくためには、教師が子どもと対話し「こんな演奏をしたい」という思いをどれだけもたせることができるか、そして、その思いをどれだけ実現できるように導いていくことができるかが大切だと詳しく説明いただきました。

参加者は、「所属校で『学びのコンパス』についてどのような取り組みをしているか」、また「これまでの音楽科の授業実践を振り返り、『学びのコンパス』の重視したい学びの姿に近づくために今後取り組みたい実践」の2点について対話し、考えを共有しました。対話を通して、「学びのコンパス」が重視したい学びの姿は、これまでも音楽科として実践してきた取り組みと同じであると気付くことができました。

子どもの思いを育むことが音楽教育の醍醐味であり、子どもは大きく伸びることを再確認することができた有意義な講演会でした。



令和6年度 名古屋市教育研究員

緑区 東丘小学校 吉田 悦子 先生
「音楽のよさを音楽づくりに生かす児童の育成」

今年度の主な行事

- 8月7日（水） 愛知県小中学校音楽教育研究大会（名古屋大会） 名古屋市名東文化小劇場
- 8月26日（月） 生産・文化部活動指導者研修会（合唱指導） イーブルなごや
- 2月1日（土） 第24回名古屋市中学校合唱フェスティバル（仮称）〈名古屋栄ライオンズクラブ主催〉 名古屋大学豊田講堂
- 2月15日（土） 冬季研修会 ルブラ王山

会報「名音教」は、年三回発行します。

第79号 7月 2日

第80号 12月 4日

第81号 3月11日 発行予定です。

内容に関するお問い合わせは、
広報部 瀬古小 安部恵理まで
【Email abe0825@nagoya-c.ed.jp】

名音教入会申し込みは
庶務部 守山中 福田純也まで
TEL:791-7141

名音教のHPです♪

QRコードでアクセスできます👉

